⑶　翌事業年度の特定の日以降使用しない決定を行った固定資産

①　使用しないという決定を行った固定資産の概要

使用しないという決定を行った固定資産	用　途	種類	所　在	使用しなくなる日
勝負の川地区宿舎	職員宿舎	建物	高知県高知市朝倉甲481―１	令和８年９月末（予定）
かつら寮	学生寄宿舎	建物、構築物	高知県高知市曙町一丁目16―１	令和11年度（予定）

②　使用しないという決定を行った経緯及び理由

勝負の川地区宿舎については、老朽化が著しく、今後の継続利用には建替や大規模改修が必要となる。本学が管理する他の職員宿舎の入居状況も踏まえて検討した結果、当該宿舎は職員宿舎としての役割を終え、新たな活用方策を検討していくことを令和４年９月14日の役員会にて決定した。

なお、令和７年度末での宿舎廃止予定であったが、１世帯について、令和８年２月２日付けで令和８年９月末までの退去猶予が認められたため、当該入居者の退去後に廃止となる。

かつら寮については、本学が保有する他の既存学生寄宿舎（南溟寮・ときわ寮）と同様に老朽化が進んでおり、これら３寮のあり方を検討した結果、南溟寮及びときわ寮は安全性を確保しつつ学生の要望を踏まえた改修を行うこととし、かつら寮は令和11年度を予定として廃止することを令和８年１月23日の役員会にて決定した。

③　回収可能サービス価額及び減損額の見込額　（単位：千円）

使用しないという決定を行った固定資産	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	減損見込額
勝負の川地区宿舎	15,431	―	15,431
かつら寮	18,100	―	18,100

５．重要な債務負担行為

⑴　＜岡豊団地＞ＰＦＩ法に基づく事業に類似するサービス事業

件　名	契約期間	契約金額
国立大学法人高知大学医学部附属病院アメニティ施設整備運営事業固定資産貸付	平成31（2019）年４月１日～令和20（2038）年８月31日	500,831千円

㈱　ＰＦＩによるサービス部分の対価の支払予定額及び収入予定額は次のとおりである。

・貸借対照表日後１年以内のＰＦＩに類似する期間に係る未経過費用…　25,806千円

・貸借対照表日後１年を超えるＰＦＩに類似する期間に係る未経過費用…　294,618千円

なお、当該支払額は改定される場合がある。

当事業について、契約先に対して建物の底地を賃貸している。

・当賃貸契約による貸借対照表日後１年以内のＰＦＩに類似する期間に係る収益…　57,012千円

・当賃貸契約による貸借対照表日後１年を超えるＰＦＩに類似する期間に係る収益…　650,887千円

なお、当該収入額は改定される場合がある。

⑵　＜岡豊団地＞（医病）外来診療棟等改修工事　（単位：千円）

契約名称	契約の相手方	翌期以降支払金額
高知大学（医病）外来診療棟等改修工事	㈱岸之上工務店	1,267,200
高知大学（医病）外来診療棟等改修機械設備工事	大一設備㈱	1,540,800

６．金融商品関係

⑴　金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については大学改革支援・学位授与機構からの借入れに限定している。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５第１項の規定に基づき、預金及び公社債を保有している。

また、寄附により株式を保有しているが、寄附目的が本学の業務を不当に拘束することはない。

未収附属病院収入は、債権管理細則に沿ってリスク管理を行っている。

大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施している。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

なお、時価等を把握することが極めて困難と思われる非上場株式等は、次表には含めていない。

また、現金は注記を省略しており、預金、未収入金、未払金および短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略している。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（※１）	時　価（※１）	差　額（※１）
⑴　投資有価証券及び有価証券（※２）			
満期保有目的債券	1,369,718	1,114,324	△　255,394
⑵　減価償却引当特定資産（※３）	344,442	344,442	―
⑶　未収附属病院収入	4,496,286	4,496,286	―
徴収不能引当金（※４）	△　592	△　592	―
	4,495,694	4,495,694	―
⑷　大学改革支援・学位授与機構債務負担金	(16,655)	(16,386)	268
⑸　長期借入金	(17,543,900)	(15,504,178)	2,039,721
⑹　リース債務・割賦債務	(3,730,442)	(3,828,526)	△　98,084

（※１）　負債に計上されているものは、（　）で示している。

（※２）　投資有価証券及び有価証券には、新株予約権（貸借対照表価額０千円）が含まれていない。

（※３）　減価償却引当特定資産には、預金344,442千円が含まれている。

（※４）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除している。

（注１）　市場価額のない株式等は次の通りである。　（単位：千円）

区　分	貸借対照表計上額
非上場株式	385